

「行政書士と海外進出支援」

はじめまして、のぞみ総研／のぞみ合同事務所の今村です。当社では、行政書士としての許認可関係の業務のほか、中小企業が海外市場に打つて出るためのさまざまな支援を行っています。

今回から「海外市場あつちこつち」というテーマで、これまでの事例や経験などを通して感じた海外市場というものをお伝えしていきます。

そもそも「行政書士なのに何で海外市場なの？」という疑問があると思いますので、まずはそのお話からしていきます。

行政書士のおもな業務に「外国人の在留資格」に関する業務があります。これは、留学や就労、結婚などの理由で日本に生活する外国人が、入国管理局で行わなければ

ならない手続きです。いわゆる「ビザ」といわれるものです。

外国人の方からの依頼を受けて、入国管理局への書類作成や提出をするのが、行政書士なのです。

外国人を雇用したい会社の社長さんたちからの相談を受けているうちに、「外国人について詳しいんでしょ？ だったら、外国にも詳しいよね。ウチの商品、海外で売れないかなあ」といった無茶ぶりも多くなり、やっとの思いでお応えしているうちに、なんとたく実力がついてきました。

そこで、2010年の年末に中国の上海を訪問したことをきっかけに、私たちが持つ専門家ネットワークを生かして中小企業の海外進出支援を事業化していくことにしました。

一口に海外市場と聞いても、とても奥深い世界です。私などではとても語るのもおこがましいのですが、軽い感じでよろしくお付き合いください。(のぞみ総研代表取締役)



今村正典の海外市場あつちこつち連載①